

令和7年1月 常任理事会 議事録

- 開催日時： 令和7年1月17日（水） 18：30～19：30
- 開催場所： 「チャイナ白魂」、ZOOM ミーティング
- 出席者： 別紙 計24名（会場19名＋ZOOM 5名）
- 司 会： 宮嶋 嘉則 副会長
- 議事録署名人： 松本 孝基 理事、宮内 健一郎 理事
- 議事録作成者： 森元 志郎 事務局長

I. 会長挨拶

皆さんこんばんは、まだまだ寒い日が続いておりますが、新年最初の常任理事会ということで、本日は新年会の兼ねております。同窓生のお店です。他のお客様も居られますので少し控えめの声の大きさと、熱心な議論をお願いしたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

II. 協議、報告事項

1. 学生参加費補助について

(司 会)

今日の一番の話題は学生参加の補助金についてというのが一番重要な話題になるかと思えます。まずこれについて進めていきます。これは前回の常任理事会で提案させていただき、先月の正副会長会において詰めて参りました。各地区・支部同窓会総会以外の同窓会イベントの大学生参加者に対して本部から補助金を支出することで、各地区・支部それぞれが活性化することがこの同窓会の活性にも繋がっていくのではということです。それで本部の方でも色々検討して、具体的に提案させていただき、本日協議した上で決まれば、すぐにでも始めさせてもらえればと思っております。会計担当副会長からは、多少のお金であれば余裕はあるので、活性化に向け進めていって良いのではというお話を頂戴しています。各地区・支部同窓会総会における学生参加者については、その参加人数による割合で、すでに補助金支出しておりますので、総会以外のイベントへの学生参加者に対する補助金についての協議をしたいと思しますので、宜しくお願い致します。それでは会長、提案をお願い致します。

(会 長)

学生参加費の補助金について司会の方からお話があった通り、以前から総会においては、学生さんに対して補助、助成をしようということで、これを一つ大きなベースにしながら各地区・支部への補助金というのを算出して予算化しております。この助成金そのものについても少し見直しをして欲しいというご要望がご

ございますので、これはまた早急に考えたいとは思いますが、今日はそれとは別に、総会以外の各地区・支部の行事を活性化をしたり、また特に学生さんを積極的に案内をしたいということでございます。ただそれを全部各地区の負担にすると非常にそれぞれの予算を圧迫するので、何とか制度化してほしいというお声をいただいております。具体的には北海道地区から2度ほど学生さんを集めてイベントを企画しようとしたことがあったとのことと、先月、京滋の会でもハイキングと忘年会を実施され、申請書を提出していただいております。それ以外の地区支部でも、今は年一回だけ総会で学生さんに声をかけているところもあるようですが、それ以外にも学生さんと触れ合うとか学生さん参加していただくような機会を作っていたら、より活性化するのではなかろうかということを含めて、こういう制度を作っては、と考えております。会計担当副会長の方から、若干の予算は大丈夫ですと言っていただいておりますが、ただこれも限界がありますので、どれぐらいの枠組みでどれぐらいを支援すればいいのかなというようなことがあります。今日はそれを皆さんの方で忌憚ないご意見をいただければと思います。先月の正副会長会の中でこの議論が出まして、多分、飲食を伴うような会合への参加ということが推定されるので、やっぱりあるレベルの補助が必要だろうということで、上限一回一人5,000円ぐらいを補助するのも一つの考え方としてどうでしょうということです。今のところはこれまでですので、この提案について皆様のご意見を伺いたいと思います。よろしくお願ひします。

(司 会)

今、会長から話がありました通り、今の一つの案としては、一人5,000円、1回ということになるのか2回に分けるのかってというのはもちろん、また自由にするのかということもございます。この一人5,000円というのも一つの考えでどうでしょうということです。予算として5,000円から始めて、その後の資金状態とか実際の使われ方とかを見ながら修正していくとして、この案をベースに、皆さんの意見を頂戴したいと思います。京滋の会の代表、実際にイベントを行なわれたようですがいかがですか、ご意見はございますか。

(京滋の会代表)

京滋の会では、忘年会で一般の方は7,000円、学生の方は1,000円で差額6,000円でしたので、その6,000円×4人で一応計算をさせていただきました。先ほど会長が言われた5,000円というのは1人当たり5000円ということですか。それでしたら全然問題がないと思います。計算もしやすいですし、差額の60%とか何%っていうよりは、5,000円と言った方が、区切りも計算もしやすく良いと思います。

(司 会)

他にご意見はないですか？ 年の予算として1人5,000円という考え方で良いですか、それとも、1回なのか延べ人数ということになるのでしょうか。年に何回かイベントをされる場所はどうなるのでしょうか。

(関東地区代表)

延べ人数ではないのですか。関東地区におきましては、就活サロンを2回、その他にも東大オープンキャンパスや新入生歓迎会なども行っています。

(会 長)

関東地区はそういうことで、すでに積極的にやっておられますからね。一つは北海道地区から提起していただいたのは、総会以外でも学生達との集いを開きたいということでした。他の地区・支部においては、総会以外のイベントをさせているところもありますが、ほとんど総会だけというところもあるようです。ですから、総会以外に年1回、学生に案内出来るもの考えたかどうかというのがベースだと思います。

(司 会)

関東地区の場合、イベントが3つあったとして、一人の学生がすべてのイベントに参加した時には、どうするのか。だいたい延べで、どれぐらいですか。

(関東地区代表)

名簿も作成していますから、管理できなくはないですが、数多くのイベントを行っておりますので、延べ人数としては、100人ぐらいになると思います。

(司 会)

延人数100人となりますと一人5,000円とすると50万円になり、なかなか大きな額になりますね。

(関東地区代表)

先ほど説明のありました、地区同窓会総会での学生補助金の話は別であるという事は理解しておりますが、ただ補助金も学生の参加人数を単価で割ると相当ばらつきがあると思います。今、延べ100人で総額50万円というのが多いというご意見もありましたが、関東地区の学生1人当たりの単価は、他の地区・支部と比べると非常に低いものですので、その辺も考慮いただければと思います。

(司 会)

関東地区は大所帯なんで学生数も多く、金額が膨らむというのも分かります。あるいはどこそこ地区が4名で2万円とした時に50万で良いものかっていうこともあります。何かご意見はございますか。宮崎さんどうぞ。

(中部地区代表)

はい、この補助金については非常にありがたいお話で、そういうシステムができましたら、それを大いに活用して、学生参加者を大いに集める活動をしようと思います。我々のところは歯車が小さいので、そういう補助がなければ学生があまり来すぎると、社会人会員から取るお金をもう少し上げないと回らないという話をしていたところです。1人5,000円であったとしても、それを出していただけるのは非常にありがたいです。それを当てにして、もっと学生さんを多く集めるという活動に力が入るかと思います。あの全体にいい方向に、使っていただける施策ではないかと思います。

(司 会)

会計担当副会長の意見としては何かございますか。その予算の総額的な面での

話になろうかと思いますが。

(会計担当副会長)

この新年度、システムをやり直しており、多少の余裕はありますが、ランニングコスト等、見直しはしなくてはと思っております。今後、関東地区への補助金50万円を予算化するとトントンに近くなるような気はします。1年間やってみて再度見直すってことであれば、関東地区の活動が活発化してることはもう当然存じ上げてるんですけども、元々の母体で予算も設定してあったので、新たに追加で50万円というのは少し厳しいと個人的には思いますけれども、あまり差をつけるとかもできないと思います。当面5,000円で、関東地区以外は問題はないと思いますし、関東地区も延べ人数でひとまずやっていただいて、足りなければ再度協議するので良いと思います。会計の立場からは、今回の会員データベースを整備することで、年会費の収納率を上げたいというのを非常に大きな目標として持っておりますので、そちらの方で皆さんに頑張ってもらって、支出は増額になりますが、十分収入で賄えたという方向性に運営していただければと思っております。ただ、会計担当としましては、例年に比べて、お金の出入りを細かく見ておかなければという気はしておりますが、それだけ活動が活発化するのであれば良いと思います。今年度は、各地区・支部間の交流に対する助成もしておりますので個人的には一度に来たかなと思ってはいますが、今回のテーマは学生に対する補助でありますから、あまりケチりたくないなというのが個人的な意見であります。予算的に危なくなれば、皆さんにご相談することがあろうかと思っております。年会費の収納率が過去だいたい30%ぐらいだったと思っておりますが、40%に近づけていただければ何の問題もないと思います。あと新校舎も完成し学校に対する大きな寄付は必要がないと思っております。同窓会としては収支でプラスを出す必要はないと思っておりますが、赤字続きでも困るのが正直なところです。会計担当としては、ひとまず1年間、暫定的に運営させてもらい、活発に活動してもらおうことが一番かと思っております。

(司 会)

現段階においてはですね、1人5,000円っていうのは確定的な話だと思います。それで、大所帯の関東地区に対しても延べ人数でいこう。かつ、1年間の暫定として様子を見ることにします。ですから、来年変わるかもしれません。ということですが、他の方で何かご意見はございませんか。

(会 長)

今、会計担当副会長からありましたが、若干の余裕があるということと、予算執行の基本的な考え方として、5年ごとの周年の積み立ては別に取ったとしたらあとはその当年の持つてる予算をなるべく消化していく、その消化していく目的は会の活性化ということに使いたいということです。その中で、学生達に積極的に参加いただく原資ということであれば、最も利用方法としては良い使い方ではないかなと思いますので、今回とりあえず1年間、一人5,000円でやってみたら良いじゃないかなと思います。

(事務局長)

回数とかの制限は無しでということよろしいですか。延べ人数ということですね。とりあえず、各地区・支部の各イベント後に実績数を申請をいただければお支払いするということですね。

(司 会)

イベントに参加した学生で同窓会費を払っていない方には、納入してもらうようお願いしても良いですよ。また、本部からの振込は学生参加者の実績ですがそのイベントについては、事前に報告していただければと思います。

この学生参加者に対する補助金は、各地区・支部だけでなく、本部のイベント、例えば「ビールトロッコ列車」などについても同様に支出します。

(事業担当副会長)

事業委員会で相談していきます。

(司 会)

学生以外の一般会員の中にも年会費を納めていない方がおられます。

各イベント毎にアナウンスして納入率を上げていきたいと思えます。

→ 総会以外の同窓会イベントに参加した学生に対して、一人 5,000 円を補助することにします。数回参加しても延べ人数で計算することにします。

2. 令和 7 年愛光学園各地区・支部同窓会総会日程

(事務局長)

九州地区同窓会代表から、せっかく地区・支部間交流補助金をいただいているので出来るだけ参加したいが、日程が分からないと予約が取れないので分かる範囲で知りたいと要望がありました。本日欠席の地区・支部の方々にも聞いています。日程順に中国地方支部、中部地区、京滋の会、関東地区、関西支部に確認を取り詳細についてもお聞きしました。

(別紙参照)

(関西支部会長)

大阪もホテル代が高騰してきております。もし、総会直前でも宿泊施設が取れないことがございましたら、サニーストーンホテルで部屋をいくつか確保しておりますので、ご相談下さい。

3. 各地区・支部同窓会報告窓会総会総括

(司 会)

前回の常任理事会以降、以下の通り、それぞれの会が行われました。

これまで報告していただいたり、SNS での報告もありましたが、特に喋りたい方はありますか。 → 特になし

- ・ 11 月 16 日 (土) 第 12 回九州地区同窓会総会
- ・ 11 月 23 日 (土) 第 1 回東北地区同窓会
- ・ 11 月 23 日 (土) 第 6 回バンコク ASEANN 同窓会

- ・12月7日(土) 関西支部「忘年会」及び関西愛光医歯会「医療講演会」
- ・12月14日(土) 京滋の会ハイキング&忘年会

4. 「同窓会データベース」事業について

(担当副会長)

まず、資料「常任理事会への報告」に沿って説明します。

I. 報告事項

1. 利用状況 ・1月17日、13:00 現在

総数	11,085名	仮ID、仮パスワードを郵送した人ー削除依頼者	
アカウント登録者	1,711名	15.4%	アカウントの本登録をした人
プロフィール登録済	1,446名	13.0%	実際に自分のデータを登録した人

2. 会費入力状況との関連

2020年11月5日～2021年1月16日	574件
2021年11月5日～2022年1月16日	514件
2022年11月5日～2023年1月16日	462件
2023年11月5日～2024年1月16日	439件
2024年11月5日～2025年1月16日	633件

・今年度200件余り増えたのは、この事業の制約があったためと考えられます。

3. 広報について

・各地区、支部あての広報依頼文書を送付しました。(2024/11/16)

依頼先	依頼数	返信数	返信者
支部	9	3	北海道、東北、沖縄
準支部	2	1	愛光放射線医会
任意団体	22	2	愛光霞が関会、ソフトボール部OB会
	33	6	

4. 追加機能について

・画面共有でパソコンの「愛光学園同窓会会員管理システム」画面を出して説明します。

・以下の項目について、開発完了しました。

1. 各期理事への権限付与

→ 各期理事のみ、会員データ検索画面で

(★期データ一括ダウンロード) ボタンを追加しました。

[CSV形式] か [Excel形式] いずれかで一括ダウンロードできます。

2. 各地区・支部の連絡先のリンク作成

・まだ一般には開放していません。データも入れていません。

各地区・支部に広報依頼文書を送付しています。

返信があり次第、追加します。連絡先のデータ、人数などは、

それぞれにお任せしています。

3. 逝去者の表示

- ・検索で「逝去者一覧」はありません。

一人一人検索した時、逝去されていたら、「逝去」と表示されます。

5. 第4回データベース委員会

- ・2024年12月23日(月)18:30「らくだや」にて開催

6. 各地区・支部同窓会の代表者への依頼

- ・2025年1月15日付 依頼文書送信

(1) 会員DBシステムへの各地区・支部の連絡先の掲載について、上記4.2.に表示する連絡窓口の人の連絡先を教えてくださいと思います。

(2) 会員DB広報のお願いについて

2024/11/16 依頼の「連絡窓口担当者を決めていただきたい」旨の再依頼をしました。

7. 広報

- ・Facebook「愛光学園同窓会」グループへの投稿
- ・広報担当副会長から1月16日、昼に投稿してもらいました。
- ・直後に2件問合せがありました。
投稿後、本日13時までに12件のアカウント登録もありました。
- ・SNSでの広報の効果はあったと思います。

II. 審議事項

1. 各期理事への権限付与について

- ・各期理事は、同期生分に限って、検索結果データをダウンロードできるが、会費未納の理事にもその権限を与えて良いものでしょうか。

参考 ~ 会費未納理事 66人中14人(いずれも40期以降)

→ 払ってもらわないといけない。会費未納の理事には、検索結果データをダウンロードする権限も無いこととします。

2. 広報について

- ・全体として、システム管理/利用状況の表を示します。12月以降だんだん尻すぼみになってきています。
- ・各地区へのテコ入れをどうするか。
→ 各地区・支部同窓会総会ではまだ案内できていません。
地道に周知し、登録をお願いするしかないと思います。

- ・今後の周知、利用促進について

(中国地方支部理事)

- ・本部から各地区・支部同窓会総会にいられて説明する時に、毎回その会場でデモンストレーションをすると、会場でプロジェクターやスクリーンを用意しないといけないと思います。手間と費用もかかると思いますので、例えば「YouTube」に動画を作って、ネット上でクローズドな形でそのQRコードを案内すれば、各自見れると思うのですが、如何でしょう。

→ 良いアイデアだと思います、前向きに検討します。

5. その他

- ・理事への「常任理事会議事録」送付について
理事会において、各期理事の方から「同窓会ホームページ」にアップする前に「常任理事会議事録」を送付して欲しいとの要望がございました。「11月常任理事会議事録」から各期理事に送付しています。今回の「議事録」も各期理事にメール送信します。
- ・インテルノス冬号（今年3月発行予定）同窓会通信執筆者をお知らせします。
24期 外交官・駐ウガンダ大使 佐々山 拓也（ささやま たくや）氏です。
ご本人から寄稿の承諾を得ております。
- ・37期理事：城戸輝仁様から河野雄一郎様へ変更されました。
- ・訃報連絡
(同窓会に連絡があった方のみです。間に合えば、同窓会から、弔電、供花を送りました)
12月3日 (1期) 中西 康堯 (やすたか) 様
12月5日 (11期) 宮内 洋介 様
12月 (5期) 渡部 泰 様
1月5日 (9期) 神野 直正 様
1月9日 (17期) 小泉 英二郎 様

(司 会)

他にご意見はございませんか。それでは、これで1月常任理事会を終わりたいと思います。最後に越智会長お願いします。

(会 長)

会場の皆様、またウェブで参加の皆様もありがとうございました。
今日は、会員の中での学生さん達への支援が決まりました。これまで、北海道地区、関東地区、京滋の会から要請が出てきておりましたが、それ以外の地区・支部もこの補助金を積極的に活用していただき、より多くの学生さんが参加していただき、次の時代の同窓会の活性化に繋がるよう、皆さんでご協力いただけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

以上、常任理事会議事録について 議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人 松本 孝基 [確認日：令和7年1月23日]
議事録署名人 宮内 健一郎 [確認日：令和7年1月23日]